

厚生労働省委託調査

「IT 人材の長時間労働削減に向けた企業実態調査」

一般社団法人組込みシステム技術協会（JASA）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、IT 業界において働き方改革を進め、長時間労働を削減することが喫緊の課題であるとの認識のもと、労働時間の状況や長時間労働の原因などの実態を明らかにすることを目的に実施するものです。
2. この調査票では、以下の内容についてお尋ねします。
 - I. 貴社の概要について
 - II. 労働時間の状況について
 - III. 長時間労働対策について
3. 主に人事担当者の方を対象としたアンケートとなっていますが、「Ⅲ. 長時間労働対策について」は経営体制やプロジェクト管理等に関する貴社の施策の実施状況をご回答いただくため、必要に応じて経営企画担当やプロジェクトマネージャ等、実態をよく把握されているご担当の方に内容を確認の上、ご回答いただけますよう、お願いいたします。
4. ご回答の方法は各質問文に示されておりますが、基本的には、該当する番号に○をお付け下さい。なお、「その他」を選択された場合は、（ ）内にその内容を具体的にご記入下さい。
5. ご回答いただいた内容は、返送先（PwC コンサルティング合同会社）によりすべて統計的に分析・処理されます。本事業による分析・処理以外には使用しないため、本調査へのご回答により貴社に不利益が及ぶことは一切ありませんので、ありのままをお答えください。
6. ご回答いただいた企業の皆様には、「IT 業界における長時間労働対策の施策実施状況に関する傾向取りまとめ結果」を集計・分析後に送付させていただきます。是非とも積極的な調査協力をお願いいたします。
7. ご記入いただいた調査票は、**11月16日（金）**までに郵送、メール等にてご返送下さい。
8. Web 上での回答も可能です。Web 上で回答する場合、以下の URL よりご回答ください。
URL: " <https://goo.gl/forms/7x7pznJ2Ic8gBPOI2> "

■ 返送先・お問い合わせ先：

PwC コンサルティング合同会社

〒104-0028 東京都千代田区丸の内 2-6-1 丸の内パークビルディング

電話：03-6214-7474

E-mail：JP_Cons_work_improvement@pwc.com（担当：千賀、千葉、高篠）

問2 以降は全ての方を対象とする質問です。

問2 貴社の (a) 売上高、(b) 営業利益率、(c) 正社員数をお答えください。(すべて直近決算期の数値)

※(a)(b)の開示が難しい場合には概算の数値をご記入いただいても構いません。

(a) 売上高		百万円
(b) 営業利益率		%
(c) 正社員数		人

問3 貴社における IT エンジニアの過不足状況をお答えください。(1つだけ○)

- | | | |
|---------------|---------------|-------|
| 1. 過剰 | 3. 適正 | 5. 不足 |
| 2. どちらかといえば過剰 | 4. どちらかといえば不足 | |

II. 貴社の労働時間の状況についてお伺いします。

問4 (a) 1 週間の所定労働時間、(b)直近 1 年間の平均所定外労働時間、(c)直近 1 ヶ月の所定外労働時間が 80 時間を超えた従業員の比率、(d)直近 1 年間の有給休暇取得率 (繰越日数は含まない)をご記入ください。※(c)(d)は、小数点第 1 位まででお答えください。

(a) 1 週間の所定労働時間				時間			分
(b) 直近 1 年間の月平均所定外労働時間				時間			分
(c) 直近 1 ヶ月の所定外労働時間が 80 時間超えの従業員比率				.			%
(d) 直近 1 年間の有給休暇取得率				.			%

問5 過去 3 カ年における(a) 所定外労働時間、(b) 1 ヶ月あたり 80 時間を超える人材の比率、(c)有給休暇取得率 (繰越日数は含まない)の変化の状況についてそれぞれお答えください。(それぞれあてはまるものに 1 つだけ○)

	悪化した	やや悪化した	変わらない	やや改善した	改善した
(a) 平均の 1 ヶ月あたり所定外労働時間	1	2	3	4	5
(b) 1 ヶ月の所定外労働時間が 80 時間超えの従業員比率	1	2	3	4	5
(c) 有給休暇取得率	1	2	3	4	5

問6 従業員の労働時間をどのように把握・管理していますか。自社の事業所、顧客の事業所で勤務する場合のそれぞれについてお答えください。(それぞれについて、当てはまるもの全てに○)

	自社の事業所	顧客の事業所
1. タイムカード、ID カードなどの利用	1	1
2. パソコンのログイン・ログオフ	2	2
3. 自己申告	3	3
4. その他 (具体的に)	4	4
5. 顧客の事業所で勤務する従業員はいない		5

Ⅲ. 貴社の長時間労働対策の取組状況をお伺いします。

問7 「1. 全社的な経営方針やビジネス実施全体についての施策」に関する①～⑩の取組状況についてそれぞれご回答ください。(1つだけ○)

1. 全社的な経営方針やビジネス実施全体 についての施策	取り組んでいる場合				取り組んでいない場合	
	1. 積極的 である	2. やや 積極的 である	3. あまり 積極的で はない	4. 積極的 ではない	5. 取り組んで いない	6. 業務または ビジネス上 該当しない
① 経営方針や戦略としての長時間労働対策の明確な位置付け	1	2	3	4	5	6
② 社長など経営者自らによる、長時間労働削減についてのメッセージ発信	1	2	3	4	5	6
③ 付加価値の高い事業分野への転換・シフト(受託型→プロダクト型等)	1	2	3	4	5	6
④ 良好な取引関係や円滑な業務遂行が期待できる顧客・ユーザかどうかの見極め、取引先の取捨選択	1	2	3	4	5	6
⑤ 顧客、SIer、パートナー企業などからなる、相互の利害を調整するための会議体(ステアリングコミティ等)の設置	1	2	3	4	5	6
⑥ 受注内容に応じた契約形態(請負/準委任/派遣等)の選択	1	2	3	4	5	6
⑦ 受注内容に応じた価格決定方式(人月単価/定額/成果報酬等)の選択	1	2	3	4	5	6
⑧ 大規模プロジェクトにおけるリスク軽減のための契約単位の分割(開発フェーズごとの多段階契約等)	1	2	3	4	5	6
⑨ 大規模プロジェクトにおける管理可能なプロジェクト規模への細分化・階層化	1	2	3	4	5	6
⑩ 開発するソフトウェアに応じた開発手法(ウォーターフォール/アジャイル等)の選択	1	2	3	4	5	6

(以下は任意回答で自由記述となります。)

問 7-2. その他、上記以外で実施している効果的な取組があればお聞かせください。

問 7-3. 上記取組において適切に実施したいができていないものがあれば、その取組、阻害要因・課題などについてお聞かせください。

問8 「2. プロジェクトの全社的な支援・管理体制に関する施策」に関する①～⑩の取組状況についてそれぞれご回答ください。(1つだけ○)

2. プロジェクトの全社的な支援・管理体制に関する施策	取り組んでいる場合				取り組んでいない場合	
	1. 積極的である	2. やや積極的である	3. あまり積極的ではない	4. 積極的ではない	5. 取り組んでいない	6. 業務またはビジネス上該当しない
① システム開発環境を整備することによるプロジェクトの <u>リスクの見える化、共有化</u>	1	2	3	4	5	6
② プロジェクト間の調整・統括を図る <u>専門担当者の配置</u>	1	2	3	4	5	6
③ <u>部門長によるプロジェクトの進捗やメンバーの業務内容等の把握</u>	1	2	3	4	5	6
④ 機能要件、品質要件などに基づく <u>生産性の定量的な把握</u>	1	2	3	4	5	6
⑤ プロジェクト特性に合わせた開発のための「 <u>システム構成に関する情報・品質情報等の収集や活用</u> 」の基盤整備	1	2	3	4	5	6
⑥ プロジェクトで使用する <u>開発標準、テンプレート、ツール類の整備</u>	1	2	3	4	5	6
⑦ 顧客・ユーザとリスクや <u>進捗を確認するためのツール類の整備</u>	1	2	3	4	5	6
⑧ 経験不足のプロジェクトへの <u>類似業務経験のある社員の配置</u>	1	2	3	4	5	6
⑨ 経験不足のプロジェクトにおける業務知識を獲得するための <u>業務有識者との密接なコミュニケーション</u>	1	2	3	4	5	6
⑩ 経験不足のプロジェクトにおける <u>見積りや開発に係る専門チーム(あるいは専門メンバー)による支援</u>	1	2	3	4	5	6

(以下は任意回答で自由記述となります。)

問 8-2. その他、上記以外で実施している効果的な取組があればお聞かせください。

問 8-3. 上記取組において適切に実施したいができていないものがあれば、その取組、阻害要因・課題などについてお聞かせください。

問9 「3. プロジェクト提案・受注・計画時に関する施策」に関する①～⑩の取組状況についてそれぞれご回答ください。(1つだけ○)

3. プロジェクト提案・受注・計画時に関する施策	取り組んでいる場合				取り組んでいない場合	
	1. 積極的 である	2. やや 積極的 である	3. あまり 積極的で はない	4. 積極的 ではない	5. 取り組んで いない	6. 業務または ビジネス上 該当しない
① プロジェクトの見積精度向上のための <u>工数確保</u>	1	2	3	4	5	6
② プロジェクトの見積精度向上のための <u>社外ノウハウの活用</u>	1	2	3	4	5	6
③ プロジェクトの <u>見積内容をチェックする社内体制の整備</u>	1	2	3	4	5	6
④ 開発作業に着手する前の <u>要件の分析・評価</u>	1	2	3	4	5	6
⑤ 顧客の要求を明確に定義するための社外ノウハウの活用等 による <u>要件定義プロセスの体系化</u>	1	2	3	4	5	6
⑥ 「プロジェクト目標を達成するために必要な成果物とタスクの定義」等、 <u>開発スコープの明確化</u>	1	2	3	4	5	6
⑦ プロジェクト特性に合った <u>開発標準やルールについてのノウハウの体系化</u> 、およびそれらに基づいた <u>テンプレートやツールの活用</u>	1	2	3	4	5	6
⑧ 契約締結時における開発期間、必要工数、開発環境等に関する顧客との交渉	1	2	3	4	5	6
⑨ プロジェクト開始前における発注者の業務理解度の把握と対策 (顧客の業務に精通する人材の配置等)	1	2	3	4	5	6
⑩ プロジェクトの要件が明確に定義できない場合に、 <u>要件定義フェーズと開発フェーズを分けて契約する対応</u>	1	2	3	4	5	6

(以下は任意回答で自由記述となります。)

問 9-2. その他、上記以外で実施している効果的な取組があればお聞かせください。

問 9-3. 上記取組において適切に実施したいができていないものがあれば、その取組、阻害要因・課題などについてお聞かせください。

問10 「4. 円滑なプロジェクト運営実現のための施策」に関する①～⑩の取組状況についてそれぞれご回答ください。(1つだけ〇)

4. 円滑なプロジェクト運営実現のための施策	取り組んでいる場合				取り組んでいない場合	
	1. 積極的である	2. やや積極的である	3. あまり積極的ではない	4. 積極的ではない	5. 取り組んでいない	6. 業務またはビジネス上該当しない
① 部門間やプロジェクト間での <u>仕事の共有化及び平準化</u>	1	2	3	4	5	6
② 特定の IT エンジニアにプロジェクトや負荷が集中しないようにするための <u>チェック・調整</u>	1	2	3	4	5	6
③ プロジェクトにおける <u>生産性の評価基準</u> の設定および評価実施	1	2	3	4	5	6
④ システム管理ツールによる <u>進捗状況</u> の定量的な管理とプロジェクト内での共有化	1	2	3	4	5	6
⑤ ビジネスチャット等のツールによるプロジェクト内で <u>コミュニケーションの活性化</u>	1	2	3	4	5	6
⑥ <u>プロジェクトマネージャが問題を抱え込まないための</u> プロジェクト状況の共有化	1	2	3	4	5	6
⑦ <u>プロジェクトマネージャによる、</u> 配下 IT エンジニアの長時間労働や稼働状況についての <u>人事・本社への定期報告</u>	1	2	3	4	5	6
⑧ 開発工程の早い段階での、 <u>検収要件やチェック項目の</u> 発注者との合意	1	2	3	4	5	6
⑨ 検収要件のチェックリスト化等、 <u>社内でノウハウとして共有する</u> 社内体制の整備	1	2	3	4	5	6
⑩ 過去の実績や体系化された外部情報・ノウハウに基づいた検収項目・テスト項目レビュー等の実施メンバーによるセルフチェック	1	2	3	4	5	6

(以下は任意回答で自由記述となります。)

問 10-2. その他、上記以外で実施している効果的な取組があればお聞かせください。

問 10-3. 上表記載の取組において適切に実施したいができていないものがあれば、その取組、阻害要因・課題などについてお聞かせください。

問11 「5. プロジェクト実施時のトラブル対応に関する施策」に関する①～⑩の取組状況についてご回答ください。(1つだけ○)

5. プロジェクト実施時の トラブル対応に関する施策	取り組んでいる場合				取り組んでいない場合	
	1. 積極的 である	2. やや 積極的 である	3. あまり 積極的で はない	4. 積極的 ではない	5. 取り組んで いない	6. 業務または ビジネス上 該当しない
① プロジェクト上で予想される <u>リスクの事前洗い出しと対応策の検討</u>	1	2	3	4	5	6
② 運用開始後に品質等のトラブルを起こさないための <u>開発段階でのテスト・検証の工数確保</u>	1	2	3	4	5	6
③ <u>トラブルの確認や対応策の調整のための会議体の設置</u>	1	2	3	4	5	6
④ <u>メンバーから悪い報告があった場合プロジェクトマネージャが責める、突き放す、無視する等の行動を抑止する施策</u>	1	2	3	4	5	6
⑤ <u>トラブル発生時に対応・追加投入するための緊急人員リソース(あるいはチーム)の確保及び支援の実施</u>	1	2	3	4	5	6
⑥ <u>追加工数発生時の原因、コスト負担、応援体制の明確化</u>	1	2	3	4	5	6
⑦ <u>顧客より仕様変更の要求があった場合の納期や価格等に関する契約内容の見直し</u>	1	2	3	4	5	6
⑧ <u>仕様変更を事前に想定した開発体制や開発手法(アジャイル等)の整備</u>	1	2	3	4	5	6
⑨ <u>仕様変更のルール(仕様変更への対応に関する顧客との合意プロセス等)の整備</u>	1	2	3	4	5	6
⑩ <u>メンテナンス・保守について契約外の対応を要求された場合の追加料金の請求や契約内容の見直し</u>	1	2	3	4	5	6

(以下は任意回答で自由記述となります。)

問 11-2. その他、上記以外で実施している効果的な取組があればお聞かせください。

問 11-3. 上表記載の取組において適切に実施したいができていないものがあれば、その取組、阻害要因・課題などについてお聞かせください。

問12 「6. 労働時間に関する制度導入などの施策」に関する①～⑩の取組状況についてそれぞれご回答ください。(1つだけ○)

6. 労働時間制度に関する制度導入などの施策	取り組んでいる場合				取り組んでいない場合	
	1. 積極的である	2. やや積極的である	3. あまり積極的ではない	4. 積極的ではない	5. 取り組んでいない	6. 業務またはビジネス上該当しない
① 労働時間を正確に把握するための制度の整備	1	2	3	4	5	6
② 裁量労働制、フレックスタイム制、テレワーク制度、短時間・短日勤務制度等の弾力的な労働時間制度	1	2	3	4	5	6
③ 勤務間インターバル制度	1	2	3	4	5	6
④ 年次有給休暇の計画的な取得の施策制度	1	2	3	4	5	6
⑤ 連続休暇制度やリフレッシュ休暇制度	1	2	3	4	5	6
⑥ 記念日休暇、配偶者出産休暇等の従業員が利用しやすい休暇制度	1	2	3	4	5	6
⑦ 半日休暇・時間単位の有給休暇制度	1	2	3	4	5	6
⑧ 産業医や保健師による、労働安全衛生法において定められた内容以上の長時間労働の社員に対する面談制度	1	2	3	4	5	6
⑨ ノー残業デーの設置	1	2	3	4	5	6
⑩ 基準を超えて長時間労働した社員に対する残業時間制限や休暇取得の強制化	1	2	3	4	5	6

(以下は任意回答で自由記述となります。)

問 12-2. その他、上記以外で実施している効果的な取組があればお聞かせください。

問 12-3. 上表記載の取組において適切に実施したいができていないものがあれば、その取組、阻害要因・課題などについてお聞かせください。

問13 「7. その他長時間労働を是正するための現場に対する施策」に関する①～⑩の取組状況についてそれぞれご回答ください。(1つだけ○)

7. その他長時間労働を是正するための 現場に対する施策	取り組んでいる場合				取り組んでいない場合	
	1. 積極的 である	2. やや 積極的 である	3. あまり 積極的で はない	4. 積極的 ではない	5. 取り組んで いない	6. 業務または ビジネス上 該当しない
① 帰りやすい・休みやすい雰囲気作り	1	2	3	4	5	6
② チャイムを鳴らす、夕礼の実施など、時間の区切りを付ける工夫	1	2	3	4	5	6
③ 長時間労働を抑制するための職場の巡回	1	2	3	4	5	6
④ 時間外労働、年次有給休暇取得状況などの「見える化」	1	2	3	4	5	6
⑤ イベントやキャンペーン等による年次有給休暇取得促進	1	2	3	4	5	6
⑥ 経営会議等での長時間労働抑制策についての検討・議論	1	2	3	4	5	6
⑦ 長時間労働を行った社員に対する、部門長や人事部等による 面談	1	2	3	4	5	6
⑧ 長時間労働の抑制や年次有給休暇取得促進に関する 労使での話し合い	1	2	3	4	5	6
⑨ 本人や部門長に対するメールや文書での長時間労働の 注意喚起（アラート）	1	2	3	4	5	6
⑩ 顧客・ユーズに対する長時間労働の抑制等に向けた自社の 考えの説明	1	2	3	4	5	6

(以下は任意回答で自由記述となります。)

問 13-2. その他、上記以外で実施している効果的な取組があればお聞かせください。

問 13-3. 上表記載の取組において適切に実施したいができていないものがあれば、その取組、阻害要因・課題などについてお聞かせください。

問14 「8. 人材育成や生産性向上に向けた意識醸成のための施策」に関する①～⑩の取組状況についてそれぞれご回答ください。(1つだけ〇)

8. 人材育成や生産性向上に向けた意識醸成のための施策	取り組んでいる場合				取り組んでいない場合	
	1. 積極的である	2. やや積極的である	3. あまり積極的ではない	4. 積極的ではない	5. 取り組んでいない	6. 業務またはビジネス上該当しない
① 社員の労働時間削減や生産性向上の意識向上に関する研修などの実施	1	2	3	4	5	6
② 時間外労働削減を達成した社員に対するインセンティブ(特別休暇、一時金など)の付与	1	2	3	4	5	6
③ 管理職を対象にしたプロジェクト管理に関する研修などの実施	1	2	3	4	5	6
④ 管理職を対象とした労働時間等の労務管理に関する研修などの実施	1	2	3	4	5	6
⑤ ITエンジニアに対する、専門能力・スキル向上のための研修などの実施	1	2	3	4	5	6
⑥ ITエンジニアに対する、業務効率化・生産性向上のための手法・テクニックについての研修などの実施	1	2	3	4	5	6
⑦ ITエンジニアに対する、コミュニケーション能力向上のための研修などの実施	1	2	3	4	5	6
⑧ ITエンジニアの「スキル見える化」	1	2	3	4	5	6
⑨ 協力会社のITエンジニアを対象にした自社の開発手法などについての研修などの実施	1	2	3	4	5	6
⑩ 先輩社員が新人社員の相談を受けるメンター制度	1	2	3	4	5	6

(以下は任意回答で自由記述となります。)

問 14-2. その他、上記以外で実施している効果的な取組があればお聞かせください。

問 14-3. 上表記載の取組において適切に実施したいができていないものがあれば、その取組、阻害要因・課題などについてお聞かせください。

問15 (任意回答で自由記述) その他、本事業や厚生労働省への、本調査テーマに関する希望やコメントがあれば記述ください。

--

本アンケート調査に関連して、お問い合わせ等をさせていただく場合がございます。差し支えない範囲で下欄にご記入をお願いいたします。

※ご記入は任意です。

貴社名	
部署名	
役職名	
ご担当者ご芳名	
Tel	
E-mail	
所在地	〒

※ ご記入いただきました連絡先等は、調査目的（結果のフィードバックを含む。）以外には使用いたしません。皆様の個人情報は、当社の「個人情報保護方針」（当社ホームページ<<https://www.pwc.com/jp/ja/sitemap/privacy/consulting.html>>にて全文ご確認くださいます）に従い適切に取扱います。連絡先等の個人情報に関しては、上記にご同意いただける方のみご記入ください。

～アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。